



みずくさ
水草が、すぐふえるのは、どうしてなの

みず ようぶん
水と養分がたくさんあって、みずくさ
水草はふえやすい

みずくさ
水草がふえやすいのは、しょくぶつ ひつよう みず ようぶん
植物に必要な水や養分が、いつも、まわりにたくさんあるから
ともいえます。また、みずくさ なかま
水草は、仲間をふやすための、さまざまなしくみもっています。

ぶんしん つく
すぐ、分身を作ってふえるみずくさ
水草

すぐふえる だいひょう すいめん
すぐふえる 代表は、水面にういているウキクサと、ホテイアオイです。ウキクサは、水面
にういたは ちい は つぎつぎ
葉から、小さい葉が次々とでき、それがはなれて、また、あたらし は
新しく葉をふやします。
ホテイアオイは、ランナーとよばれるとくべつ
特別のくきをのばし、くきのさき あたらし め つぎつぎ
先の先に、新しい芽が次々と
できて、ふえていきます。

なが
ガガブタは、長いくきの先に、水面にひろがる葉がついています。この葉のえと、くきのつ
なぎ目のところ えいようぶん
め ところ、栄養分をためた太い芽ができます。ガガブタのくきは折れやすく、ちぎれ
た葉は なが きしちが なが つ
なが なが、岸近くに流れ着き、そこで、えいようぶん
栄養分をためた芽から根を出してふえます。

ふし
くきの節から、分身を作ってふえる

すいちゆう
水中のくきに節がたくさんあり、その節からねがで、やがて、めもで、なかま
根が出、やがて、芽も出て、仲間をふやし
ていくオオフサモや、コカナダモなどのようなふえかた
方もあります。これらのものは、折れたく
きみず なが
きが水に流されながら芽や根を出して、別
ばしょ みずそこ ね お
な場所の水底に根を下ろすこともあります。

みずそこ ちか
ハスやスイレンのように、水底の地下けい
の節ごとに、ね は ちか
根や葉や花がのび、地下けいが
いくつもえだわ
枝分かかれして、ふえていくものもあ
ります。(監修・矢野 亮)

